

コミュニティ・スクール（CS） みんなの「共通の願い」

誰もが自分らしく生き生きと過ごす。誰もが自己表現し、対話する。誰もが自己効力感・自己肯定感がある。誰もが気軽に商店・公共施設や交通機関・福祉サービスを利用する。誰もが気軽に地域の活動に参加する。そんな子どもに育てほしい！ そんな地域になってほしい！ ⇒CS3協働 みんなで①環境づくり②研修③防災



学校教育目標： 自分のことは自分でしよう みんなとなかよくしよう じょうぶな体にしよう

<中学部で育成したい資質・能力>

できることを増やそうとする力。いろいろな人とかかわりあおうとする力。健康な生活をしようとする力。

<小学部で育成したい資質・能力>

できることを自分でしようとする力。まわりの人と仲良くしようとする力。元気に生活しようとする力。



今年度は、チャレンジ208！



目指す資質・能力を育成するために！ 重点目標①

「各教科等の個別の指導計画」に基づく、一人一人の目標・手立てが明確な授業の実践・改善

- ◆学習指導要領解説と子どもの実態を根拠に、チームで見直し続ける年間指導計画・個別の指導計画
- ◆校内研究「10のキーワード」から、チームで改善を重ねる授業実践

⇒前年度課題からの重点：キーワード②見通しがもてる手掛かり、④手を伸ばしたくなる教材、⑥十分な活動量

目指す資質・能力を育成するために！ 重点目標②

「自立活動の個別の指導計画」に基づく、「育成したい資質・能力」の基盤を培う自立活動の徹底・改善

- ◆学習指導要領に準拠し、指導目標設定に至る根拠、指導内容設定時の7考慮点まで検討した個別の指導計画
- ◆行動障がい予防・軽減、社会参加の促進につながる指導内容・支援の選定
- ◆課題別学習の時間を中心に、教育活動全体を通じてチームで徹底・継続・改善し続ける自立活動の指導

目指す資質・能力を育成するために！ 重点目標③

校外の人材や諸機関等と協働することで、コミュニティ・スクール「共通の願い」に近づく教育活動

- ◆地域とかかわり、豊かな体験を重ねることで、資質・能力を育み、共生社会の実現にもつなげる教育実践
- ◆課題解決のため、様々な外部の専門家・関係機関・関係者と積極的につながる連携・協働実践

目指す学校づくり チェックポイント

チェックポイント① 子どもの人権・健康・命を守り、支持的風土に満ちた学校

確かな人権感覚は、当校開校の原点です。コロナ禍や能登半島地震では、人権とともに健康・命を守る重要性も再確認しました。さらに今、学校と連携・協働する保育・療育や福祉では、子どもの人権を守る施策・取組が強く進められています。私たちも、人権感覚をさらにアップデートし、子どもの人権・健康・命を守り、支持的風土（※認め合い、助け合い、期待を掛け合い、高め合う、温かい風土 2020新潟市教育委員会）の学校をつくります。

チェックポイント② 地域と連携・協働する学校

学校だけでは、地域だけでは、できないことがあります。今現在も将来も、地域で豊かに生きる力を子どもに育み、コミュニティ・スクール「共通の願い」を叶えるために、私たちは、地域と連携・協働する学校をつくります。

チェックポイント③ 働き方改革に取り組む学校

いよいよ物流・運送・建設・医療でも、働き方改革関連法が適用されるようになりました。私たちも、勤務時間に関する指針等を遵守し、授業づくりの準備時間が確保でき、工夫と活力ある授業が持続可能な学校をつくります。

※校内研究「10のキーワード」

- ①取り組みたくなる課題 ②見通しがもてる手掛かり ③選択・決定、意思表示の機会 ④手を伸ばしたくなる教材
- ⑤さりげない手添え・モデリング ⑥十分な活動量 ⑦動きやすい・分かりやすい動線・配置 ⑧肯定的な言葉掛け・表情・トーン
- ⑨役に立ち、必要とされる機会 ⑩喜び、認め合う機会